

No.3 言語・思考・感性の発達から見た聴覚障がい児の指導法

1 主旨 聴覚障がい児の特性を踏まえ、言葉を通して論理的思考や感情表現、共感力を育てる指導と、学校現場で活用できる実践的な支援の工夫を学ぶ。

2 対象 県内の学校・関係機関等に勤務する方全般

3 主管 福井県特別支援教育センター

4 期日 令和8年7月31日(金) 13:30～16:00

5 実施方法 Zoomにて実施

6 講座日程および内容

当日の欠席連絡等は、
特別支援教育センターへ
(0776-53-6574)
をお願いします。

時 間	テーマ および 講師	内 容
13:00～13:20	接続受付 ※13:20には接続完了してください ※参加者名の表示を、下記のように設定してください。 参加者名フルネーム:所属名	
13:30～13:40	開講の挨拶・講師紹介 福井県特別支援教育センター所長 岩永 英子	
13:40～15:15	<講義> 「言語・思考・感性の発達から見た聴覚障がい児の指導法」 筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター 教授 長南 浩人 氏	・言葉を通して論理的に考える力や気持ちを言葉で表現し、他者と共感する力を育てる指導の工夫を、聴覚障がい児の特性を踏まえた具体例とともに学ぶ。 ・地域の小・中・高等学校における支援や、教科指導・コミュニケーション支援で活かせる実践的なヒントを学ぶ。
15:15～15:30	ブレイクアウトルームによるグループ協議 協議テーマ「明日から実践したい工夫」	・講義で学んだ指導法や事例を踏まえ、各自の現場において「明日から実践できそうなこと」は何かを出し合い、交流する。
15:30～15:40	協議内容の共有	
15:40～15:55	ご助言	・協議内容を踏まえて長南先生より実践に向けたご助言をいただく。
15:55～16:00	閉講・事務連絡	

7 その他

- ・当日は、Zoomを使ったオンライン形式で開催します。参加用のミーティングIDとPWは約1週間前に受講確定した方にメール等でお知らせします。
- ・参加者名の表示を、次のように設定してください。 参加者名フルネーム:所属名
- ・本講義では、講義中にチャットを活用した活動や、ブレイクアウトルームを用いた協議を行います。チャット・カメラ・マイクが使用できる端末を各自1台ご準備の上、ご参加ください。
- ・講座開始時は、カメラはオン・マイクはオフにしてご参加ください。
- ・講義中の入退室はできるだけ控えてください。
- ・講義の録画、録音、撮影はご遠慮ください。
- ・接続がうまくいかないなどのお問い合わせは、電話にてお願いします。チャットは、講義に対する質疑応答等、講師とのやりとりで利用する場合があるため、お控えください。

8 研修を欠席する場合の対応について

やむを得ず欠席する場合は、研修開始までに下記の方法でご連絡ください。

<欠席の際の手続き>

①管理職より、特別支援教育センターに電話連絡

②欠席届を当センターHPからダウンロードし、[PDF形式で tokuse01@pref.fukui.lg.jp \(研修講座専用メール\)](#)あてEメール添付にて送付（ファイル名及びメール文のタイトルは「研修講座No.3 欠席届（学校名・氏名）」としてください）

9 事後アンケートについて

研修終了後、下記のアンケートフォームより、8月1日(土)17:00までに回答してください。フォームは研修終了後に開きます。なお、メ切を過ぎると回答できなくなるためご注意願います。アンケートの回答によって、出欠の確認をさせていただきます。同じ端末で複数の方が参加された場合でも、アンケートには、お一人ずつご回答ください。なお、出欠確認の関係上、アンケートは所属・氏名を入力する様式となっています。ご理解・ご協力をお願いします。

アンケートフォーム

<https://forms.office.com/r/4SFfQzMhNR>



本講座担当者

福井県特別支援教育センター 指導主事(特別支援教育) 細谷 佳菜子

〒910-0846 福井市四ツ井2丁目8-1

Tel:0776-53-6574 Fax:0776-52-6272

E-mail: tokuse01@pref.fukui.lg.jp



ホームページへの
アクセスはこちら